

ロボットテストフィールド・国際産学官共同利用施設（ロボット）について

平成 28 年 4 月 20 日
 新生ふくしま復興推進本部

I 概要

- イノベーション・コースト構想に基づき、浜通り地域においてロボット関連産業の集積を目指すため、その実証試験や研究開発を行うロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設（ロボット）を整備する。
- 両拠点の整備・運営については、国の財政的支援のもと、県が整備するとともに、新たに設置する運営法人が運営を行う。

II 本県における検討経過

平成 26 年 6 月	「イノベーション・コースト構想研究会」がイノベーション・コースト構想の主要プロジェクトの一つに「福島ロボットテストフィールド」及び「国際産学官共同利用施設」を位置づけ
平成 26 年 11 月	「ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会」及び「国際産学官連携拠点に関する検討会」の設置
平成 26 年 12 月	「イノベーション・コースト構想推進会議」発足
平成 27 年 6 月	「イノベーション・コースト構想推進会議」において「ロボットテストフィールド」及び「国際産学官共同利用施設（ロボット）」について、平成 28 年度以降の事業化を整理
平成 27 年 12 月	「ロボットテストフィールド・国際産学官共同利用施設（ロボット）活用検討委員会」発足
平成 28 年 1 月	経済産業省と福島県との間で「ロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設（ロボット）の整備及び運営に関する協定」を締結し、両拠点の整備・運営の方向性、役割分担等を確認
平成 28 年 3 月	「ロボットテストフィールド・国際産学官共同利用施設（ロボット）活用検討委員会」において中間整理を発表し、拠点整備の考え方や整備内容等を整理
平成 28 年 3 月下旬	中間整理で示された候補地に係る選定の視点を踏まえ、要望のあった 5 市町村の現地調査を実施

III 拠点の選定について

1 拠点の選定

設置要望のあった市町村について現地調査を実施の上、中間整理に基づき県が選定

2 市町村からの設置要望の状況

沿岸部の 5 市町村から要望

((北から) 南相馬市、浪江町、川内村、檜葉町、広野町)